

第十四課 原子爆弾

原爆が投下されたのは八月六日の午前八時十五分だった。が、われわれは翌七日^①の正午になって^②ようやくそのことを知らされた^③。広島への原爆投下に対する^④私の最初の反応は、きわめて科学的なものだった。昼食のテーブルにつき、米の飯を目の前にしていながら^⑤—戦時中の日本ではそれは最高のごちそうだった—私は、一瞬にして食欲を失った。そして、同じテーブルで向き合っていた士官たちに、こう言った^⑥。

われわれの研究は即刻やめた方がよさそうだ。アメリカに原子爆弾を作る能力があるとしたら^⑦、それは日本があらゆる分野で大幅に後れをとっていることを意味している。とうてい彼らに追いつくことは無理だ。

上官はこれを聞いて激怒した。

私は原子力兵器の可能性についてはある程度の知識があった。だが、実際に原子爆弾が開発^⑧されるまでには、少なくとも二十年はかかると踏んでいた。だから、アメリカがすでにその開発に成功したことを知ったのは非常な衝撃であった。日本がこれに匹敵するものを発明できる可能性はまったくない^⑨。日本が考案し得る^⑩いかなる新兵器、いかなる防衛法も、もはや原爆には太刀打ちすることはできないと私は言った。広島のニュースは私にとってそれほど信じ難い^⑪ものだった。それはアメリカとの技術上^⑫の開きが、すでに天と地ほどもあることを物語っていた。

アメリカと日本の科学技術力に差があることは知っていた。しかし日本の技術も捨てたものではない^⑬とと思っていた。われわれは常に新しいアイデアを採り入れる努力もしていた。あるとき、撃墜された B 29 の部品を手に入れたことがある^⑭。それは進歩した技術、違った電子回線を使っていたが、われわれと桁が違う^⑮というほどではなかった。

広島に原爆が落とされたと聞いてはじめて^⑯、私はアメリカの工業力がわれわれの予想に反して、途方もなく大きいことを悟った。少なくとも私はこのことにもっと早く気づくべきだった。

1 The phrase 翌七日 here is a telescoping of 翌日, meaning 'the next day' and 七日 'the 7th'; it does not mean 'the next 7th day'.

2 Note here the ～て form carrying a strong sense of subordination.

3 知らされた

This verb form is the passive of 知らせ 'inform', so 'we were informed'. There are not many verbs like 知らせ, but they are quite common and should be recognised for what they are: they have a causative meaning and what looks at first sight to be a causative form, but you will find them treated as independent verbs in dictionaries. There also exists, of course, the verb 知る with a causative, 知らせる 'cause to know', and a passive causative (see *IMJ*, 50.4), 知らせられる 'be caused to know'. You will not be surprised to learn that, as in English, whenever possible, the preference is for the simpler form, in this case 知らせる. Remember the following verbs.

Plain

行かす 'send'

寝かす 'put to sleep'

聞かす 'make ...listen'

言わす 'make ...say'

Passive

行かされる 'be sent'

寝かされる 'be put to sleep'

聞かされる 'be made to listen'

言わされる 'be made to say'

祖母からよく戦時中の話を聞かされました。

言いたくなかったのに意見を言わされた。

4 原爆投下に対する私の最初の反応

～に対する has quite a fair range and can mean any of the following, depending on context: 'vis-a-vis', 'with regard to', 'as against', 'in contrast to'. You should learn how to distinguish this pattern from the somewhat similar ～に関する, which means 'concerning' and is much less confrontational.

親の子に対する愛情は絶対的なものであるというのは一種の神話ではありませんか。

あの先生の学生に対する態度にはどこか威圧的なものがある。

「あなたの生きがいは何ですか」というアンケートに対する回答の中にはかなり面白いものがあった。

この地域の火山活動に関する資料はかなりよくそろっています。

あの先生の学生に関するレポートはいつも短いが公平でよく的をついている。現在問題になっている日米の貿易摩擦に関する私の見解をまとめると以下のようになります。

結婚に関する／対する若い人達の考え方は変わってきていると思います。

In this last case both are possible but 対する imparts a much stronger sense of involvement.

5 米の飯を目の前にしていながら

In *IMJ*, 23.4 you were introduced to ながら as marking two actions going on simultaneously. ながら has other uses. Used here after a ～ている form, it means something closer to 'although'. The English 'while' has a similar double use. It is not simply that he lost his appetite while sitting at the table; he loses it despite the fact that good food is there in front of him. This usage is largely restricted to stative verbs or verbs in the stative ～ている form.

自分が悪かったということは分かっているが、それを皆の前で認めることが出来なかった。

あのレポートを読んでいながら、その点に気が付かなかったのはうかつだったとしか言いようがありません。

最近の衛星中継を見ていると、東京にいながらニューヨークでの出来事が手にとるように分かる。

6 こう言った

The word こう means 'thus', 'so', or 'like this'. In the present context こう言った means 'said thus', but you will also find こう in many other contexts. Study the following examples:

こういう考え方もありますよ。

こう言っでは失礼かもしれませんが、もう一度考え直された方がいいのでは
ありませんか。

こうなってしまうよりは諦めるより仕方がありませんね。

こうしてはいられない。さっそく手伝いに行かなければ。

彼のやり方はいつもこうだから同僚みんなに嫌われるんですよ。

こうして田舎に住んでいると、季節の移り変わりがとても身近に感じられる。

7 あるとしたら

Refer to *IMJ*, 45.6, where we explained that *としたら* is a little bit more elaborate than just a simple 'if': 'if it was a case of'. The best way to understand the use of *としたら* is to compare it with simple *～たら*.

(a) 彼が来たら驚きますよ。

If he comes, he'll be surprised.

(b) 彼が来るとしたらあさってですね。

If (we assume that) he comes, it'll be the day after tomorrow.

In (a) the second statement is a simple consequence of the first statement. In (b), however, the second statement is not a simple direct consequence of the first statement but rather follows from what has been expressed in the first statement. 'If one assumes X to be the case, then I think Y'. The second statement is a comment on how or when the first statement might happen.

Study the following:

飲んだら赤くなるから飲まない。

飲むとしたらワインですね。

新しいのを買ったなら古いのは君に上げるよ。

新しいのを買うとしたら高くてもあのモデルが欲しいな。

私が選ぶとしたら、こちらではなくてあちらのですね。

もし医者者の判断が間違っていたとしたら、これは重大な責任問題ですね。

There is yet one more form that needs explaining in this context: *のだったら*. This means 'if it is a fact that X, then I think Y', or 'If it is the case that X, then Y'. Note that the use of *のだ* objectifies the statement and so makes it highly unlikely that the subject of the first phrase is 'I'.

お酒を飲むんだったら運転はしない方がいい。
 彼が来るんだったら山川君は来ないな。
 新しいのを買うのだったら彼の意見を聞いてからの方がいいわよ。

8 開発

There are three Japanese words that are often translated as 'develop' or 'development': 開発, 発展, and 展開. Try and catch the difference between them from the following examples.

開発 refers to physical expansion or opening up and is essentially transitive in nature; there is a strong feeling of someone actually developing (or even exploiting) something.

発展 also refers to expansion but it is essentially intransitive in nature; things expand/develop. Both these words give a sense of movement outwards.

展開, in contrast, is intransitive but lacks a sense of expansion; something will simply proceed to develop along a particular path.

天然資源の開発は多くの場合自然破壊につながる。
 最近低開発国という言葉の代りに発展途上国という言葉が使われるようになった。
 都市が郊外に向けて発展していくに従って、交通麻痺はひどくなる一方だ。
 あまりにも予想外な物語の展開に人々は息もつかずに画面を見守っていた。

9 まったくない

Note here that the verb suddenly shifts to imperfective at this point, only to return to perfective in the next sentence. The effect of this is rather difficult to replicate in

English. It gives this particular sentence prominence and suggests that it might well represent the author's direct speech.

10 日本が考案し得る

This is another example of the use of an essentially classical phrase in modern written Japanese. It can be described as a 'literary' potential form, with the conjunctive of the verb, in this case する, + the verb 得(う)る. The negative form is 'conjunctive form + 得(え)ぬ or 得(え)ない'.

彼は私が挑戦し得る相手ではない。
 武力では解決し得ぬ問題だということは双方ともよく分かっているはずだが。
 ドイツ人とフランス人が同じ通貨を使って生活するなどということは
 あり得ぬと誰もが思っていた。

11 信じ難い

In *IMJ*, 29.3 we discussed the pattern 'conjunctive form + やすい, にくい'. 信じ難い operates in a similar way to 信じにくい but there are certain differences and they are not simply interchangeable. ~にくい, for example, cannot be used with 信じる. ~にくい means 'difficult to...' where there can be degrees of difficulty; ~難い is much closer to a straightforward 'impossible to...'

文明の高低などというものは計り難いものではありませんか。
 この柱は曲がっているのでとても計りにくい。
 それほどまでに親を憎むというのは私にとってはちょっと理解し難い感情だ。
 生活環境があまりにも違うのでこの点は彼等にはちょっと理解しにくい
 のではなかと思う。

12 技術上の

In *IMJ*, 39.1 we met the word 上, read うえ, following verbs and meaning 'in addition to'. Here 上, read じょう, is attached to nouns and means something like 'on the level of'. You will find, however, that it does not translate well into English and can often simply be omitted. The Americanism '...wise' comes close.

これは議論上の例に過ぎない。
 戦略上のミスだったということは認めます。
 歴史上の人物の中で特に親しみを感じる人がいますか。

13 捨てたものではない

You will be familiar by now with the way *もの* is used in certain set phrases. Here is another pattern: perfective + *ものではない*, which means 'it is not that...'

あの男の言うことなど信じられたものではない。
 彼女は夢の中で生きているような人だから、そんな話は本当なのか
 うそなのか分かったものではない。
 木村君に比べれば彼女のフランス語はまだまだですが、それでもそうばかに
 したものでないみたいですよ。

Note the use of the perfective in this pattern. The word *もの* here is being used in the rather specialised sense of *ほどのもの* or 'something to the extent that'. This pattern is quite different from the imperfective + *ものではない*, which means 'it is not a thing one should...', or 'it's not sensible to...'. Unlike the previous pattern, this can be used in the negative or the positive.

親に向かってそんなことを言うものではない。
 親の言うことは聞くものですよ。
 いくらかわいくてもそんなに子供を甘やかすもんじゃないありませんよ。

14 ~たことがある

Note here the bracketing of *あるとき* with perfective + *ことがある*. This refers to a one-time experience. See *IMJ*, 26.6.

15 桁が違う

This is a metaphor that refers to the abacus or *soroban*. Each vertical bar, or *桁 (keta)*, on the abacus marks the difference between units, tens, hundreds, etc. If the 'vertical' used is 'different', the result is therefore a 'considerable difference'.

16 ～と聞いてはじめて

～て form + はじめて means 'it was only when I ... that I...'

彼の告白を聞いてはじめて自分が大きな誤解をしていたことに気がついた。
地震を経験してはじめてその恐ろしさが分かった。
病気になってはじめて健康のありがたみを身にしみて感じた。

Exercises

1 Choose the right word in the brackets.

新しいスーパーの設置計画に（対して、関して）反対意見を持っている人が多い。
今日はこの問題に（対する、関する）レポートを読んで皆で考えてみることにしましょう。

あの事件に（対して、関して）は警視庁から報告書が出版されたので誰でも読むことが出来ます。

政治家の汚職に（対して、関して）の人々の感じ方も国によって違っていて一律ではない。

彼は人の心の動きに（対して、関して）はとても敏感だ。

ストレスが人体へ及ぼす影響に（対する、関する）研究がさかんに行われている。

この学生は経済の動きに（対する・関する）興味に全く欠けている。

この政策に（対する・関する）国民の反応を調査してみました。

この政策に（対する・関する）資料はどこに行けば見つかりますか。

日米関係に（対する・関する）私の知識は十分とは言えません。

学生の先生に（対する・関する）態度が変わった。

政府に（対する・関する）国民の信頼がうすれた。

軍に（対する・関する）人々の反感は増すばかりだ。

進化に（対する・関する）論争は今も続いている。

あなたに（対する・関する）私の気持ちは今も変わっていません。
食生活に（対する・関する）人々の考え方はずいぶん変わってきている。
そのことに（対して・関して）は、私は何も知りません。
生死に（対する・関する）問題ですよね。それは。
学生の質問に（対する・関する）彼の答えは明確で分かりやすかった。

2 Make a sentence using the following phrases.

.....を読んではじめて
.....を見てはじめて
.....と話し合っではじめて
日本へ行ってはじめて
試験に落ちてはじめて

3 Complete the following sentences.

会議に出たら
会議に出るとしたら
会議に出るんだったら

フランスへ行ったら
フランスへ行くとしたら
フランスへ行くんだったら

妥協したら
妥協するとしたら
妥協するんだったら

ジョンさんに会ったら
ジョンさんに会うとしたら
ジョンさんに会うんだったら

4 Translate the following sentences.

今度の外務大臣はちょっと近づき難い感じの人ですね。

忘れ難い思い出がたくさんあります。

彼のああした行動はゆるし難い。

駅まで見送りに行ったんですが、本当に別れ難い気持ちでした。

あの事件の日、彼が香港にいて北京にはいなかったというのは動かし難い事実だ。

Word List

原爆 (原子爆弾)	<i>genbaku (genshi bakudan)</i>	atomic bomb
投下する	<i>tōka suru</i>	drop
われわれ	<i>ware ware</i>	we
翌～	<i>yoku～</i>	next
ようやく	<i>yōyaku</i>	finally
広島	<i>Hiroshima</i>	place name
反応	<i>hannō</i>	reaction
きわめて	<i>kiwamete</i>	extremely
昼食	<i>chūshoku</i>	lunch
飯	<i>meshi</i>	meal
戦時中	<i>senjichū</i>	during the war
最高	<i>saikō</i>	most, best
一瞬	<i>isshun</i>	moment
食欲	<i>shokuyoku</i>	appetite
失う	<i>ushinau</i>	lose
士官	<i>shikan</i>	officer
即刻	<i>sokkoku</i>	immediately
あらゆる	<i>arayuru</i>	all
大幅	<i>ōhaba</i>	substantial, considerable
後れをとる	<i>okure o toru</i>	be behind, lag behind
とうてい + neg.	<i>tōtei</i>	negative intensifier
追いつく	<i>oitsuku</i>	catch up
激怒する	<i>gekido suru</i>	be enraged
原子力	<i>genshiryoku</i>	atomic power
兵器	<i>heiki</i>	weapon
ある程度	<i>aru teido</i>	to some degree
実際	<i>jissai</i>	actually
開発	<i>kaihatsu</i>	development

踏む	<i>fumu</i>	step on, estimate
衝撃	<i>shōgeki</i>	shock
匹敵する	<i>hitteki suru</i>	match
考案する	<i>kōan suru</i>	design, devise
得る	<i>uru, eru</i>	get, obtain
いかなる	<i>ikanaru</i>	whatever kind of
防御	<i>bōgyo</i>	defence
～法	<i>~hō</i>	method of
もはや + neg.	<i>mohaya</i>	no longer
太刀打ち	<i>tachiuchi</i>	measure swords with
～難い	<i>~gatai</i>	difficult to, impossible to
開き	<i>hiraki</i>	difference, gap
差	<i>sa</i>	difference, disparity
採り入れる	<i>toriireru</i>	adopt, introduce
撃墜する	<i>gekitsui suru</i>	shoot down
部品	<i>buhin</i>	parts
手に入れる	<i>te ni ireru</i>	obtain
進歩する	<i>shinpo suru</i>	progress
電子回線	<i>denshi kaisen</i>	electrical circuitry
桁が違う	<i>keta ga chigau</i>	differ widely from
工業力	<i>kōgyōryoku</i>	industrial might
予想	<i>yosō</i>	anticipation
反する (Xに)	<i>hansuru (X ni)</i>	contrary to X
途方もない	<i>tohō mo nai</i>	preposterous
悟る	<i>satoru</i>	realize
愛情	<i>aijō</i>	affection, love
絶対	<i>zettai</i>	absolute
一種	<i>isshu</i>	one kind
神話	<i>shinwa</i>	myth
威圧的	<i>iatsuteki</i>	domineering
生きがい	<i>ikigai</i>	purpose in life

アンケート	<i>ankēto</i>	questionnaire
回答	<i>kaitō</i>	answer, response
かなり	<i>kanari</i>	fairly
地域	<i>chiiki</i>	area
火山	<i>kazan</i>	volcano
公平	<i>kōhei</i>	fair
的をつく	<i>mato o tsuku</i>	to the point
見解	<i>kenkai</i>	view
まとめる	<i>matomeru</i>	summarize
以下	<i>ika</i>	as follows
うかつ	<i>ukatsu</i>	careless
衛星	<i>eisei</i>	satellite
中継	<i>chūkei</i>	relay
出来事	<i>dekigoto</i>	occurrence, incident
手にとるように	<i>te ni toru yō ni</i>	vividly
諦める	<i>akirameru</i>	give up
季節	<i>kisetsu</i>	season
移り変り	<i>utsurikawari</i>	change
身近	<i>mijika</i>	close, near by
選ぶ	<i>erabu</i>	choose
判断	<i>handan</i>	judgement
重大	<i>jūdai</i>	serious
展開	<i>tenkai</i>	see note 8
発展	<i>hatten</i>	see note 8
天然資源	<i>tennen shigen</i>	natural resources
破壊	<i>hakai</i>	destruction
つながる	<i>tsunagaru</i>	lead to, link to
低開発国	<i>teikaihatsukoku</i>	underdeveloped country
都市	<i>toshi</i>	city
従って (Xに)	<i>shitagatte (X ni)</i>	together with X
交通麻痺	<i>kōtsū mahi</i>	traffic jam

予想外	<i>yosōgai</i>	contrary to expectation
息をつく	<i>iki o tsuku</i>	take breath
画面	<i>gamen</i>	screen
見守る	<i>mimamoru</i>	watch
挑戦する	<i>chōsen suru</i>	challenge
武力	<i>buryoku</i>	military power
文明	<i>bunmei</i>	civilization
高低	<i>kōtei</i>	height, pitch
柱	<i>hashira</i>	pole, pillar
曲がる	<i>magaru</i>	bend
憎む	<i>nikumu</i>	hate
例	<i>rei</i>	example
戦略	<i>senryaku</i>	strategy
甘やかす	<i>amayakasu</i>	spoil
告白	<i>kokuhaku</i>	confession
誤解する	<i>gokai suru</i>	misunderstand
地震	<i>jjishin</i>	earthquake
経験する	<i>keiken suru</i>	experience
恐ろしさ	<i>osoroshisa</i>	horror, terror
健康	<i>kenkō</i>	health
ありがたみ	<i>arigatami</i>	blessings
身にしみる	<i>mi ni shimiru</i>	feel deeply
スーパー	<i>sūpā</i>	super market
設置	<i>setchi</i>	establishment
計画	<i>keikaku</i>	plan
警視庁	<i>keishi-chō</i>	Metropolitan Police Board
出版する	<i>shuppan suru</i>	publish
政治家	<i>seijika</i>	politician
一律	<i>ichiritsu</i>	uniform
敏感	<i>binkan</i>	sensitive
人体	<i>jintai</i>	human body

影響	<i>eikyō</i>	influence
政策	<i>seisaku</i>	policy
信頼	<i>shinrai</i>	trust
うすれる	<i>usureru</i>	fade
進化	<i>shinka</i>	evolution
